

18 伊原の喜納^{きな}ワタブトウ の土地分け

喜納ワタブトウといってね、偉いもう頭の優れた者がおつたらしい。その人はね、昔はもう、権力やら武勇やらの強い人が上でしょう。だから、この人はあの時代までは財産のある、強い者の勝手だったでしょう。その人がね、ほとんどのこの財産を囲って。

こつちから、自分が高いところに立つておつてね、一番、森の。こつちから見えるだけはね、私の領地、財産。見えないところはよその物にして。この人は相当このようなやり方でね、この近辺の土地のよ、見通しのできるだけはよ、自分の見通されるだけはよ、この人の財産であつたつて。

それで、その人は今は、喜納という名前はあるけれど、その人はどういうふうになったかもう、戦後はもうあまり栄えていないからわからんけれど、そんな例もあつたつて。

喜納ワタブトウという武勇の強い人があつたらしい。

これ、権力もあるしね、腕力も権力も強かった人だったそうですよ。

字伊原 玉城ハル

